

施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

| | | |
|-------|-------|-------------------|
| 担当部局名 | 部長名 | 連絡先 (担当室名) |
| 企画財政部 | 山口 伴尚 | 63-7389 (総合企画政策室) |

| | | | |
|------|------|---|----------------------|
| 施策体系 | 政策 | 5 | 新しい時代を拓く自立と協働による地域経営 |
| | 基本施策 | 4 | 広域連携の推進 |
| | 施策 | 1 | 広域連携 |

1. 施策の基本方針

Plan

- ・伊賀市との広域的な連携を強化し、多様な主体とも協働して、魅力ある圏域づくりに取り組みます。
- ・名張川流域の周辺地域との連携を強化して、多様な交流を積極的に促進します。
- ・近畿と中部を結び結節点として地域間ネットワークの創造に取り組みます。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・伊賀圏域における政策連携を推進し、救急医療、防災・消防など、効果効率的な広域行政を展開します。
- ・名張川流域の周辺地域の動向を踏まえつつ、地域医療の充実、災害対応など幅広い連携・交流を進めます。
- ・能楽や乱歩にゆかりのある地域との交流を引き続き進めるとともに、交流のための組織化やイベントの開催など、多様な分野における交流ネットワークを創造します。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・二次救急医療の確保と連携型の医療体制の構築が伊賀圏域の重要な課題となっています。こうした救急医療の動向を踏まえつつ、消防広域化について、引き続き検討を進める必要があります。
- ・限られた医療資源を効果・効率的に活用するため、奈良県の周辺地域との連携を強化する必要があります。
- ・創作乱歩狂言の公演を平成24年度中に実施するにあたり、乱歩とゆかりのある三重県下の自治体(三重県・津市・亀山市・鳥羽市)で構成する「乱歩都市交流会議」としても、物産の販売やPRを行い、積極的な取組を行う必要があります。
- ・東大寺の建立にかかわった市町村サミットが平成24年度(隔年開催)に福井市で開催されることから、PRを行い、積極的な取組を行う必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

- ・広域連携の推進には、全市民的な気運の盛り上がりが必要であり、このための取組検討が急務である。
- ・観光の広域化は、現在の組織や、他団体の広域組織との有機的な連携ができるような取組強化が必要である。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

| 施策指標(目標)の内容 (単位) | | 現状値 (H20) | 2009 (H21) | 2010 (H22) | 2011 (H23) | 2012 (H24) | 2015 (H27) | 進捗率 |
|--|----|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 名張市周辺の市町村の公共施設(教養・文化・レクリエーション施設・温泉施設等)を利用した市民の割合 (%) | 目標 | - | - | - | - | 66.0 | 68.0 | |
| | 成果 | 64.2 | 62.2 | 60.3 | 61.4 | 63.2 | | 0% |
| 伊賀圏域において共同処理している事業数【延べ値】 (件) | 目標 | - | - | - | - | 5 | 5 | |
| | 成果 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | | 0% |
| 環境や防災など近隣市町村等と共同で取り組むことが効果的な分野で、連携が行われている件数【延べ値】 (件) | 目標 | - | - | - | - | 14 | 16 | |
| | 成果 | 12 | 12 | 12 | 13 | 14 | | 50% |
| 地域間交流による文化・物産等の共同事業への参加回数【延べ値】 (回) | 目標 | - | - | - | - | 41 | 69 | |
| | 成果 | 8 | 20 | 26 | 38 | 53 | | 74% |
| 伊賀市をはじめ広域的な交流活動が活発に行われていると感じる市民の割合 (%) | 目標 | - | - | - | - | - | 40.0 | |
| | 成果 | - | - | - | 34.7 | 35.8 | | H25取組分より評価対象 |

新規設定

課題解決への取組内容

Do

・伊賀ブロック消防広域化の取組については、平成24年6月に運営計画策定委員会の企画財政・総務人事・警防通信・予防の4部会長で協議をし、総務人事・警防通信・予防部会の3部会は、現状のままでは協議を続行することは困難であると判断されましたが、企画財政部会においては、以降の国・県の動向等を注視しながら、必要により部会を招集することで合意しました。
 ・平成24年4月より、名張市立病院において、奈良県曽爾村・御杖村・山添村及び三重県津市太郎生地域からの二次救急受入を開始しました。
 ・平成24年11月に福井市で開催された東大寺の建立にかかわった市町村サミットに参加し、PRを行い、積極的な取組を行いました。
 ・東大和西三重観光連盟及び名張市観光協会との連携により、名張市の物産PRはもとより伊賀地域全体の効果効率的な知名度向上に努めました。

< 行政評価委員会からの意見に対する取組内容 >

・平成24年9月、10月及び12月に創作乱歩狂言をそれぞれ、名張市、宮城県塩竈市及び東京都豊島区において開催し、また同会場において、乱歩都市交流会議としても、物産の販売やPRを行い、積極的な取組を行いました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

該当なし

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 1 事業)

Do

Check

| 事務事業シート番号 | 事業名・担当室名 | | 事業費 (単位：千円) | | 担当室による評価 | | | 部局による評価 | |
|------------------------|----------|---------|-------------|------------|-------------|-----------------|----------------|-----------|-----------|
| | | | 2011 (H23) | 2012 (H24) | 事務事業の施策への貢献 | 地域づくり組織等との連携・協働 | 事務事業シートでの今後の方向 | 施策達成への貢献度 | 施策達成への重要度 |
| | | | | | | | | | |
| 6014 | 広域連携推進事業 | 総合企画政策室 | 0 | 486 | B | 該当しない | 継続(拡大) | B | B |
| 合計(単位：千円) | | | 0 | 486 | | | | | |
| 小計(うち、一般会計分) | | | 0 | 0 | | | | | |
| 小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分) | | | 0 | 0 | | | | | |

5. 部局による施策評価

Check

| |
|--|
| 評価 |
| 事業推進の一部改善 |
| 成果・評価理由 |
| ・伊賀ブロック消防広域化の取組については、平成25年4月に広域化を行うことを目標に伊賀市はもとより関係機関と協議を進めてきましたが、給与・手当などの処遇問題や、救急業務において、伊賀地域における二次救急医療の受け入れ体制が明確になっていないため、広域化を実現することができませんでした。しかしながら、課題の解決に向けた両市での協議を継続していきます。 ・乱歩都市交流会議や東大寺の建立にかかわった市町村サミットにおいて、引き続きPRを行い、積極的な取組を図る必要があります。 |

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

・伊賀ブロック消防広域化の取組については、平成30年3月31日までに広域化を行うことを目標に、懸案となっています給与・手当などの処遇問題等の案件や伊賀地域における二次救急医療の受け入れ体制について、伊賀市はもとより関係機関と協議を進めていきます。
 ・広域的な課題に適確に対応できるよう、伊賀市・名張市広域行政事務組合の機能の充実を図る必要があります。

7. 総合評価

| |
|--------------------------------|
| 評価 |
| B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている |
| 評価理由及びその他(意見) |
| |